



こんにちは!!

令和5年4月

144号

やまがたむら 議会 です

特集

どうなるの?
子どもの居場所
トレーニングセンターを改装して
新たに設置

トピック

議会改革の第一歩に皆様のご協力を

発行：長野県山形村議会（代表）百瀬 章

編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

TEL.0263-98-3111



令和5年度一般会計当初予算

37億6千万円(前年度比3.0%増)

第6次山形村総合計画の初年度

魅力ある村づくりにつながる人口減少対策や
子育て支援、行財政改革に重点を置く

今年度の主な新規事業

◎ 子どもの居場所事業 5千955万円

◎ 高校生の通学の足確保

広丘駅直行バス運行 560万円

◎ 空き家対策関連事業 211万円

◎ 鉢盛中学校への通学路の歩道設置事業

2千575万円

◎ 空き家・移住・定住希望者をマッチングする

地域おこし協力隊員1名新規採用



理想の仕事です

年齢制限なし

※ただし、被選挙権のある25歳以上の方

在任期間の
制限なし

リストラなし

男女差別なし

拘束時間少なめ

あなたもなれる！
村議会議員



※ただし、議員個人の政務活動の時間は含みません。

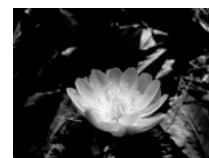
令和5年 第1回山形村議会定例会

令和5年第1回山形村議会定例会が3月1日開会し、10日までの10日間開催された。
令和5年度予算など34件（承認2件、諮問1件、議案31件）を審議し、全議案を全会一致で可決した。
一般質問は9人が登壇し、8日に村政全般について質問を行なった。

主な議案の審議結果

	議案内容	結果
承認	令和4年度山形村一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認を求めることについて ※出産・子育て応援交付金事業 510万円	可決
承認	令和4年度山形村介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて ※要因は要支援者増による委託料の高騰	可決
諮問	人権擁護委員候補者の推選について 上條 寛司氏（中大池区）	可決
議案	山形村議会の個人情報保護に関する条例について ※個人情報保護法の改正に伴う条例の制定	可決
議案	山形村地域福祉基金条例の一部を改正する条例について ※地域福祉基金運用益の取扱いを、他の基金運用益の取扱いに合わせるもの	可決
議案	山形村国民健康保険条例の一部を改正する条例について ※出産育児一時金を40万8千円から48万8千円に増額するもの	可決
議案	山形村子ども医療給付金条例の一部を改正する条例について 山形村母子家庭等医療給付金条例の一部を改正する条例について 山形村重度心身障害者医療給付金条例の一部を改正する条例について	医療給付年齢を15歳から18歳に引き上げるもの 可決
議案	山形村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案	山形村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議案	農業者トレーニング施設条例の一部を改正する条例について ※山形村子どもの居場所支援事業新設に伴う条例の改正	可決
議案	山形村下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について ※山形村清水高原簡易水道特別会計を公営企業会計に移行し、山形村下水道条例に組み入れるもの	可決
議案	令和4年度山形村一般会計補正予算（第9号） ※歳入歳出総額に877万4千円を追加し、総額を42億4千799万3千円とするもの 事業確定に伴う補正、及び公共施設整備基金積立金 1億3千199万5千円などが主な内容	可決
議案	令和4年度山形村国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ※歳入歳出総額から2千712万3千円を減額し、総額を10億2千578万9千円とするもの	可決
議案	令和4年度山形村介護保険特別会計補正予算（第5号） ※歳入歳出総額から6千477万円を減額し、総額を6億9千977万6千円とするもの	可決
議案	令和5年度山形村一般会計予算 歳入歳出総額 37億6千万円（3.0%増額） ※主な事業、子どもの居場所事業 5千955万4千円・県営競争力強化基盤整備事業 1千12万5千円 村道歩道設置事業 2千575万円・松本公設民営バス補助事業 1千934万2千円など	可決
議案	令和5年度山形村国民健康保険特別会計予算 10億4千981万4千円 令和5年度山形村後期高齢者医療特別会計予算 8千528万円 令和5年度山形村介護保険特別会計予算 6億8千965万1千円	可決

- その他の全会一致で可決した議案
条例の一部改正（7件）、令和4年度補正予算（3件）、令和5年度予算（3件）
その他（1件）



福寿草

令和4年度 一般会計補正予算の主な事業

農業費

○県営競争力強化基盤整備事業

3千31万5千円

諸支出金

○公共施設整備基金積立金

1億3千199万5千円

燃料費・光熱水費

○燃料費は保健福祉センター（129万3千円）、

光熱水費は保育園（100万円）、小学校（103万

円）など、総額451万4千円

工事の発注状況

○令和4年度上水道配水管布設替工事第4工区

（2千200万円）など3件を発注。

総額は3千308万5千8百円

一般質問

議員9人が

村政を問う

一般質問は3月8日、議員9人が登壇、村政について質問を行なった。質問時間は一人当たり40分、マスク着用およびこまめな休憩時間と、議場内の換気に配慮した。

大型事業のタイムスケジュールは

令和5年12月末までに基本計画をまとめる



上 條 倫 司 議 員

Q 複合施設のタイムスケジュールは。

A 先般、山形村複合施設整備推進委員会から報告があった。令和

5年度においては、基本構想をもとにして基本計画策定の協議を進め、ハード・ソフトの両面から充実した施設とするため、場所・広さ・開館日・開館時間・職員体制・展示構成・蔵書数など施設整備にあたり具体的に決められることを可能な限り提示する。ワークショップの開催などを実施しながら、施設の具体像などを示し、整備の具体化に向け、インシャルコストやランニングコストの検討や財源、予算の平準化のあり方などについて検

Q 土地利用計画による企業誘致の取り組み状況は。

A 令和2年度に国土利用計画の見直しを行ない、村の土地利用計画との整合性を図り、将来的な土地利用のあり方のガイドラインとして、村の土地利用計画の見直しの必要性は承知している。現状を見ると、人を呼び込むための働く場所の確保、厳しい財政状

況の中、安定財源の確保のため企業誘致は必要な施策であり、関係機関との連携を密に取りながら進めていきたいと考えている。



山形村図書館

子育て支援で中高生の居場所は

多様な意見交換の場を設けて議論を深め検討していく



大 池 俊 子 議 員

Q 村で中高生の居場所はまだまだ少ない。

現在、トレーニングセンターのロビーなどは、多くの中高生が利用している。複合施設が完成し中高生の居場所ができるまで、トレーニングセンターの空き部屋を開放してはどうか。

A 過去に一室を用意して自由に使えるよう開放したが、利用者が全くなかった。子ども達はある程度大人の目がある中で、思い通りに過ごすことで安心して考えると考える。

Q 『未来塾』を続ける中で、トレーニングセンターのロビーなどで中学生の利用が増えている。中学生から「利用者が多いので場所を増やして欲しい」という声を聞くが。

A 今ある学習コーナーなどをより使いやすく改善して、中学生にも利用していたきたい。検討中の複合施設は、子どもからお年寄りまで、多様な意見交換の場を設けながら議論を深め検討していく必要がある。今後は、中高生の居場所となることから、中高生のワークショップも望みたい。

その他、開村150周年記念事業、複合施設や合葬墓などについて質問した。



子どもの居場所

行政のデジタル化がより一層必要では
住民サービス向上になるよう進めたい



新居 禎三 議員

Q デジタル化推進のためにも、知識を持った職員の育成が必要ではないか。

A 少ない職員で多種多様な業務をこなさなければならず、業務の汎用性がないため、専門職員育成の計画はない。しかし、財政負担の軽減やシステムの外注において、交渉できる知識を持った職員の育成は必要であると考えます。

Q マイナンバーカードを利用した、行政手続き等の簡素化の計画は。

A 汎用電子申請システムの基本機能は、昨年度より導入し利用している。今年度からはこのシステムを拡張して、新たなサービス導入も予定している。その一部にマイナンバーカードを利用したサービスの導入も計画している。

Q 役場窓口でのキャッシュレス収納の導入予定は。

A 費用対効果の面から導入には至っていないが、住民サービスの向上につながるもので、前向きに進めていきたいと考えている。

Q 高齢者などへ、スマートフォンを活用するための講習会の計画は。

A 今までも、操作や設定などの教室を行っており、マイナポイント申請サポート

トの窓口を開催した。今後、具体的な計画はないが、その時々求められる支援は継続していく必要があると考えます。

その他、職員のワークライフバランスについて質問した。



マイナポイント
手続き所

「ふるさとCM大賞」で
上位の成績を残すCMの作成を!!

長 村 ユーチューバーによるPR動画の作成
(村内事業所の紹介)で対応



竹野 恒夫 議員

Q 村でも来年の「開村150周年」に向けて記念行事など住民と節目を盛り上げる計画でいる。村民から良く耳にする要望だ。

「ふるさとCM大賞NAGANO」で上位の成績を残すようなCMができないものか。

村でも来年の「開村150周年」に向けて

記念行事など住民と節目を盛り上げる計画でいる。村民から良く耳にする要望だ。

A 近年の応募の状況は、令和2年度・令和4年度と応募した。令和2年度は移住をテーマに、令和4年度は山形小学校6年2組の子どもたちが授業の一環として取り組んだ。受賞作品になるとテレビの露出が増えることも承知しているが、限られた人員では限界がある。

Q 山形村を全県にアピールする絶好の機会だと思うが、今までの取り組みが評価されていない原因は。

A その時々で最善を尽くしているが、それに掛ける人員や時間などが影響している。山形村をアピールするといった視点では、

令和4年度に元気づくり支援金を活用PR動画の作成や、新型コロナウイルス感染症による地方創生臨時交付金を活用し、ユーチューバーによる村内事業の紹介を行なった。

その他、「アマニ」、村の行事について質問した。



ふるさとCM大賞NAGANO

行政からの情報資料配布は、全ての世帯向けに！
連絡班の位置付けを明文化することが第一歩



大月 民夫 議員

内容」は。

災害などへの対応、行政からの情報伝達、ごみステーションの管理、地域の環境整備や子育て・高齢者福祉など、共助の力が発揮できる連絡班であることが理想だと考える。

住民の多様性を尊重しながら、新たな仕組みを探索する観点から、一方通行でも行政の動向・志向は、連絡班加入・未加入

山形小学校児童の体力向上対策は

保健の授業等で運動の大切さを学ぶ取り組みを進める



百瀬 昇一 議員

この調査は、小学校5年生を対象に、握力や上体起こし、反復横とびなど8種目により調査が行なわれた。

山形小学校児童の体力の状況は、5年生男子の体力合計点の平均値は、全国全体で52・28点、長野県全体では52・58点、当校では55・26点で国や県の平均値を上回った。また、5年生女子では、全国全体で54・31点、長野

を問わず、漏れなく村民に伝える必要性を強く感じるがどうか。

行政事務の執行のために連絡班に協力をお願いする事項と、地域の皆さんが自治会として役割の仕分けが必要になると考える。連絡班にお願いする必要不可欠なもの何かを洗い出し、多くの村民が納得できる連絡班の位置付けを明文化することが第一歩だと考える。村民の皆さんには、それぞれの地区ごとに、住みよい地域コミュニティのあり方について研究をしてもらうことを期待する。

その他、水道・自動検針機能活用による、見守りサービスの実証導入について質問した。

県全体では54・27点、当校では54・15点で国や県の平均値とほぼ同様となった。

幼児の運動能力の低下は、全国の保育現場で注目されているが、山形保育園ではどうか。

幼児の運動能力の低下は、懸念材料の一つだが具体的な数値の把握はしていない。幼児期の運動は、運動習慣形成や心身の育成のための重要な要素であると認識している。

山形保育園では日々の遊びを通して、心身の穏やかな成長のために、必要な運動ができる環境を引き続き整えていく。



山形小学校正門



下竹田公会堂

隣村との観光連携は

まだまだ課題はあるが、両村の特徴を活かせるものにした



小出 敏裕 議員

両村の観光資源を積極的に活用する考えはあるか。

観光連携の一つの可能性として、山形村・朝日村は『山』『自然』など特徴が近いので、『自然巡り』のような連携が可能ではないかと考える。また、それぞれが持つ特徴を活かせれば良いのではないかと考える。

連携協議をする上で、行政はどの程度関わりを持つのか。

観光地を作り上げるためには、行政主導では限界がある。地域企業や地域に愛着がある住民など、関係するあらゆる人たちが、協力して作り上げることが重要と考える。行政は、公的整備や民間支援などを行ない、観光のために働く人たちに支える「黒子」に徹することが望ましいと考える。

その他、なろう原霊園の現状はについて質問した。



山形村観光協会

特集

子どもの居場所事業

コンセプトは

「お帰り」と「ただいま」で始まる子どもたちの居場所

笑顔あふれる居場所に！

開所当日は、緊張気味の子どもたち。ちょっと不安そうな面持ちで通ってきた初日ですが、日を追うごとに満面の笑みを浮かべて「ただいまー！」と元氣よく来てくれます。迎えるスタッフの皆さんも優しく「お帰りー！」と、声を掛けます。心が通い合う瞬間です。部屋に入ると荷物を置き、手を洗い、席について今日のスケジュールを立てます。最初はどんな学習をするか、自由時間にはどんなことをして遊ぶかなどを自分で考えてホワイトボードに書きます。過ごし方は大人が押し付けるのではなく、自分で決めて過ごしていくことで、日々の暮らしの中の生活習慣として身に付けていけるよう支援していきます。

学校でもない、家庭でもない、塾でもない、子どもたちが「トロッコにここ」でフレンズが楽しい。毎日通いたい。」と、心から思ってくれるような居場所にしたいと思っています。今後とも暖かく見守ってくださいますようお願いいたします。

山形村子どもたちの居場所
運営マネージャー 古家 茂人

ただ今 募集中



小学校3年から6年生
下校時から午後6時まで
教育委員会内 古家 茂人
電話 0263-98-3155



出席を取ります
今日は何をしようかな！



学びは大切
でも
遊びも大事



スタッフの皆さん

愛称の『トロッコにここフレンズ』は、子どもたちが会議を持って話し合い10案から3案に絞り決めたという。上級生が会議をリードし、下級生の意見を取り入れながら、「少数の意見を尊重し民主的で見事な決め方であった」とスタッフが話してくれた。これからは、子どもたちの居場所での過ごし方なども、話し合いながら皆で決めていくという。これからが楽しみである。
(大池 俊子)

4月からB&G財団の助成金を活用して、小学校3〜6年生を最大30名程度受け入れる「子どもの居場所事業」が、スタートした。その様子を見学しようと13日に訪れた。
「学校から帰った」女の子は先ず宿題から、それが済むとトランプで遊び、手さばきが良いい。「山形っ子タイムから帰った」男の子は、泥だらけの服を着替えてから宿題を済ませる。それが済むと皆思い思いに遊び出す。何人かは図書館へも出かけた。

トピック

いよいよ動き出す 議会改革の第1歩!!

皆様のご協力を

初 開催!! 村民と議員の懇談会

生活の困りごとや村政に関することなど
なんでもかまいません。
皆さんの生の声をお聞かせください。



第1回 令和5年5月20日(土) 午後5時

場所 トレセンふるさと大ホール

第2回 令和5年5月21日(日) 午後1時30分

場所 保健福祉センターいちいの里 研修室

※託児室を設けます。詳しくはチラシをご覧ください。



募集!! 議会モニター



主役はあなた!

令和5年度から議会の一般質問などの傍聴や
ネットで配信する情報を視聴していただき、
率直なご意見を賜りたいと思います。

皆様から議会にさまざまな提言をいただき、
その声をできる限り村政に反映していく所存
です。

まずは6月の議会を傍聴してみませんか。

力を合わせて、魅力ある村づくりをしましょう



12人の You Tuber 誕生!! 「You Tube はじめます」



たまには見てねット(net)

6月の定例会から、一般質問の You Tube 配信を始めます。

※このページに関するお問い合わせは、山形村議会事務局 (0263-98-3111) までお願いします。

私の一言

通学に利用しているバスについて

上条 小百合（上大池）



高校生の頃、バスの運賃は村の補助金制度を利用し、通常料金の半額で利用できて助かりました。

帰りのバス（松本発上大池行き）は、午後16時40分と18時20分の2本みの運行で、部活がある時は18時台を利用していました。部活がない時や早く帰りたい時には17時台の運行がなく不便でした。17時台には電車を利用し広丘駅まで来られますが、広丘駅から山形への公共交通がないため、親に迎えを頼まなければなりませんでした。

そこで要望ですが、17時台のバスの運行をお願いしたい（終点の上大池までとは言いませんが、せめて役場まで）。

また、朝日村では電車の発着に合わせて（毎本あるわけではありませんが）バスの運行があり、運賃も格安でした。

現在は大学生のため利用はしませんが、高校生の方（特に、松本まで通学している方）はバスの運行があれば助かると思います。

地域の交流

村瀬 諒 祐（小坂）



私は生まれてすぐ山形村に移り住み23年が経ちました。気がつけば社会に出て1年が立ち、これまで地域の方々に支えていただきました。地域の「あなたかさ」は山形村の良さのひとつである「距離感」だと感じています。

学生時代に山形村をテーマとし、地域コミユニティについてレポートや論文を書いたことがあります。改めて調べてみると、村民同士の交流する場が多いと感じました。祭りや運動会、その他地区ごとの行事など……

今考えると地域の方々と交流し対話できる機会が多くありました。それがあなたかさを感ずる「距離感」でした。

しかし、ここ数年はコロナの影響で行事がほとんど無くなりました。交流の場も少なくなつたなあと思います。交流の場も少なくなつたなあと思いますが、正直楽になつた部分もあるのではないのでしょうか。

最近では、地域との関わり方にも変化ができています。新しく建つ住宅も増えてきています。それに感じます。それぞれの「距離感」というものができるのではないのでしょうか。



朝の始業式

編集後記



セツブンソウ

山形村議会は、「身近な議会」を目指し、議会改革推進特別委員会を立ち上げ議論を重ねています。

議会広報編集特別委員会でも、議会だよりをはじめ議会広報のあり方などについて議論を重ね、様々な意見を出し合いながら、多くの村民の皆様にご覧いただけるような紙面づくりや広報活動に向けた取り組みを始めたところです。

まずは、議会だよりが「表紙のイメージが変わった。読みやすくなった」と思われることを目指そうと思っています。

引き続き、身近な議会を目指し頑張ります。
（小出 敏裕）



発行責任者 議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 百瀬 章 |
| 委員長 | 小出 敏裕 |
| 副委員長 | 大池 俊子 |
| 委員 | 竹野 入恒夫 |
| 委員 | 百瀬 章 |
| 委員 | 百瀬 昇一 |
| 委員 | 三澤 一男 |